

総務委員会会議録

- 1 日 時 令和2年 8月19日(水)
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 開 会 午前10時21分
- 4 閉 会 午前10時57分
- 5 出席者 委員長 小沼秀朗 副委員長 松浦昌巳
委員 鈴木正治 委員 鷺山喜久
委員 大石勇 委員 藤澤恭子

当局側出席者 総務部長、企画政策部長、危機管理部長、
消防長、南部行政事務局長、会計管理者、
議会事務局長、所管課長
事務局出席者 議事調査係 松永友理子

6 審査事項

- ・議案第103号 令和2年度掛川市一般会計補正予算(第6号)について
 - 第1条 歳入歳出予算の補正
 - 歳入中 所管部分
 - 歳出中 第2款 総務費(第1項を除く)
 - 第9款 消防費
 - 第2条 債務負担行為の補正
 - 第3条 地方債の補正

- 7 会議の概要 別紙のとおり
以上のとおり、報告いたします。

令和2年 8月19日

市議会議長 大石 勇 様

総務委員長 小沼 秀 朗

7 会議の概要

令和2年8月19日（水）午前10時21分から、第3委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 付託案件審査 [10:21 ~ 10:57]

①議案第103号 令和2年度掛川市一般会計補正予算（第6号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第2款 総務費（第1項を除く）

第9款 消防費

第2条 債務負担行為の補正

第3条 地方債の補正

歳入：第15款 国庫支出金、第19款 繰入金、第22款 市債

[財政課、説明 10:23 ~ 10:26]

[質疑 10:26 ~ 10:29]

○委員長（小沼秀朗君） それでは、財政課から説明をお願いいたします。

都築財政課長。

○委員長（小沼秀朗君） ただいまの財政課の説明に対する質疑をお願いします。

質疑はございませんか。

鷲山委員。

○委員（鷲山喜久君） 1点だけ、事前に都築課長に話を持っていけばよかったんですが、ちょっと電話で事前に話したことの関連について、この債務負担行為が、このところいろんな議案を見ていると、特にこの事項という欄がありますが、これがやたら増えているような、件数が増えているような気がしますけれども、果たしてその件数を増やすということは、これ、陰の借金だなんて呼ばれています。この陰の借金が増えちゃうと、無駄に後、ツケを回すようになれば、そこらは十分財政課も意識をして、債務負担行為の項目は、事項は増えても全体の金額は減らすようなやり方を御努力をしていただくことが大事ではないかというように思いますので、御答弁は結構ですが、そのところは頭の中へ入れておいていただきたいということだけ私は申し上げます。

以上です。

○委員長（小沼秀朗君） 答弁はよろしいですか。

○委員（鷲山喜久君） 結構です。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はございますか。

[発言する声なし]

○委員長（小沼秀朗君） それでは、質疑を終結いたします。

ありがとうございました。

歳出：第2款 総務費

[行政課、説明 10:30 ～ 10:31]

[質 疑 10:31 ～ 10:35]

○委員長（小沼秀朗君） それでは、次に、行政課の説明をお願いいたします。

高塚行政課長。

○委員長（小沼秀朗君） ただいまの行政課の説明に対する質疑をお願いします。

質疑はございませんか。

藤澤委員。

○委員（藤澤恭子君） 今回のこの文具、消耗品、機材については理解いたしました。実際に選挙になった場合、この選挙人や立会人以外に例えば会場の消毒をしなければいけないとか、何回かに、何時間に1回とか、分からないんですけども、どういう状況になるかは、そういった方の人員というのは増加するとか、そういったことは御検討をされているのか確認させてください。

○委員長（小沼秀朗君） 高塚行政課長。

○行政課長（高塚茂樹君） 特に人員の増強は考えておりませんが、事務従事者の中で鉛筆の消毒ですとか、消毒液、スプレーとかで記載台の消毒とかを小まめにやって、また換気についても十分行っていきたいと考えております。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はありますか。

鷲山委員。

○委員（鷲山喜久君） 新聞を見ていますと、安倍さんの体調もよくないと、こういうことで10月解散総選挙というようなことも活字になってもう出ていますよ。したがって、急いでこれをやらないうということ、今度の臨時議会も通れば間に合うということだと思いますけれども、私、心配するのは、投票所もたくさん市内にはありますよね、開票所は1か所にしているんで、260万円ばかりで本当に安全が保たれるのかどうかということ。いろいろ見積り取ったり、いろいろしてはじいたと思いますけれども、ここへお金をつぎ込むのをけちったためにコロナになっちゃったということじゃいけませんので、本当に十分ですかという、260万円です十分ですかという質問です。

○委員長（小沼秀朗君） 高塚行政課長。

○行政課長（高塚茂樹君） フェイスシールドにしても、投票所にいる職員ですとか開票所にいる職員、人数分などを積算しました。また、マスクについても、ゴム手袋もそうですが、各投票所の文具ですとか期日前投票所の積算につきまして、また、あとパーティションも必要とすると考えていますので、今考えられる消耗品の数というふうに考えております。

また、周囲への周知ということで、先日もマスクを着用しておいでくださいですとか、投票所ではこういうことをしていますということをもた周知をして選挙に備えたいと思っております。

○委員長（小沼秀朗君） 鷲山委員。

○委員（鷲山喜久君） いろいろ準備されて見積り取って、この程度で間に合うということではじていただいたとのことで、この中には、もう足りないぐらい使い切っちゃって安全をしっかりと確保するというので、どうも御答弁が遠慮しがちな御答弁に聞こえるものですから、そこは自信を持って、足りないものは足りないということでもちゃんとやっていただきたいということを注文して終わります。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はございますか。
よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

歳出：第9款 消防費

〔危機管理課、説明 10:36 ～ 10:37 〕

〔質 疑 10:38 ～ 10:43 〕

○委員長（小沼秀朗君） それでは、質疑を終結いたします。

次に、危機管理課の説明をお願いいたします。

戸塚危機管理課長。

○委員長（小沼秀朗君） ただいまの危機管理課の説明に対する質疑をお願いいたします。

藤澤委員。

○委員（藤澤恭子君） 自主防災会のタブレットの配付ということで、今後大変必要なことだなどは思いますが、これは通常どのように管理運営していくかということなど、スケジュールのほうもちょっと教えていただきたいと思います。

○委員長（小沼秀朗君） 戸塚危機管理課長。

○危機管理課長（戸塚美樹君） 自主防災会、238ございます。そちらに 1台ずつということになります。

利用としては、簡単に今申し上げましたけれども、うちの防災関係、災害時については当然、各地区の被害状況を送ってもらったり、それから避難所、地区の公会堂のほう、そちらのほうに避難者がどれぐらいいるかとかという情報を本部に送ってもらう、本部でそういった情報を共有するというようなものに使いたいと考えております。

平常時については、なかなか災害とは離れてしまいますけれども、これについては今後、協働推進課等と協議というか話をするようになるんですけども、平常時、各自主防災会と区というような関係になってくるんですけども、そういった中で、各区に対する通知とかそういったものについても紙ではなくてこういったタブレットを使って送るとか、あとは会議等も、今後このコロナの状況がどうなるか分かりませんが、なかなか集まってというのが難しい場合がございますので、そういったときにはリモートでの会議、そういったものも今後検討していけたらということ考えております。

管理というようなことで、一応、こちらで購入して貸与をするような形になりますので、そういった一応今のところ対応をしてということで、月々、当然、回線使用料とかがかかってきますけれども、その辺については一応市のほうでというようなことで考えております。

以上です。

○委員長（小沼秀朗君） 藤澤委員。

○委員（藤澤恭子君） では、各自主防災会にというよりは、各地区の区長が常に持ち歩いているという、そういうイメージでよろしいのでしょうか。常にどこかで充電しておかなければいけないし、それを防災センターに置きっ放しというわけにもいかないなというお話を今感じたんですが。

○委員長（小沼秀朗君） 戸塚危機管理課長。

○危機管理課長（戸塚美樹君） 委員おっしゃられたように、そういった形で区長さんに管理とかということに、そこまでちょっとまだ話をしていないような状況なものですから、今回、防災の関係で入れるということでございますので、そういった、今後は自主防災会、区長というような形で、じゃ、管理はどちらがどういう形でやっていくかというようなものを今後決めていきたいと思えます。

○委員長（小沼秀朗君） 松浦副委員長。

○副委員長（松浦昌巳君） では、3番目の防災資機材の整備費のところですけども、防災に関して避難関係が少し修正されているんですが、広域避難所はあくまでも最終的な集まる場所ですよということになっていきますけれども、今回この予算については、あくまでも広域避難所での対応であるということですか。事前に例えば公民館であるとか、もうちょっと手前の集まる場所とか、そういうところに対しての助成というのはこれからどういうふうに考えているのか教えてください。

○委員長（小沼秀朗君） 戸塚危機管理課長。

○危機管理課長（戸塚美樹君） 今、お話の中で、今回のパーティションとかベッドとか電子体温計については広域避難所に配置するものとして考えております。各自主防災会のほうで、もう今後はそういったパーティション等が必要になってくるかと思えますけれども、そちらについては市のほうで自主防災会の資機材の購入の補助、3分の2出しておりますので、そういった中で準備していただけるようにこれから周知をしていきたいということで考えております。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はございますか。

藤澤委員。

○委員（藤澤恭子君） すみません、最初に伺いましたタブレット配付についてのスケジュールの予定を教えてくださいたいと思います。

○委員長（小沼秀朗君） 戸塚危機管理課長。

○危機管理課長（戸塚美樹君） 今回、この議会のほうでお認めいただきましたら、9月から購入できればということで考えておりますので、その後に早急にそういった今後の使い方とかそういったものを関係するところと協議して、そこからスタートできればということで考えております。

○委員長（小沼秀朗君） 藤澤委員、よろしいですか。

○委員（藤澤恭子君） はい。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はございますか。

[発言する声なし]

[消防総務課、説明 10:43 ～ 10:45]

[質疑 10:46 ～ 10:50]

○委員長（小沼秀朗君） それでは、質疑を終結します。

次に、消防総務課の説明をお願いいたします。

平井消防次長兼消防総務課長。

○委員長（小沼秀朗君） ただいまの消防総務課の説明に対する質疑をお願いします。

鈴木委員。

○委員（鈴木正治君） 消防のほうの資料のほうの 5番の部分で、その他運営費で、これは消防団活動費で今回100万円増加ということですが、これは各分団へわたるわけですが、例えばマスクとかそういったものの数はどれぐらいを用意して、費用的には 1分団当たり幾らぐらいを想定しているのでしょうか。それと、買って与えるのか、あるいは分団で準備するのか。

○委員長（小沼秀朗君） 平井消防次長。

○消防次長兼消防総務課長（平井良宏君） まず、これは全て貸与ではなくて、買って与えてしまうというものです。ほとんどが使い捨てでございますので、そのようにさせていただきます。

あと、マスクは全団員に配付ができるよう各分団にマスクを配付するというものでございます。

それから消毒液、1リットルの消毒液を 2本ずつ配付をして、消毒液によって車両や資器材の消毒をお願いするものです。また、ガーゼもそれによって必要になるものですから、購入します。

あと、体温計は団本部、指導隊等々に 1個ずつ配付をする予定となっております。

以上です。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はございますか。

鷺山委員。

○委員（鷺山喜久君） 説明資料の 4番のところの200万円の件ですが、ここに被服等の購入ということですが、使い捨てで相当人数がいらっしゃるし、そうすると被服を何着分を予定されているのか。十分数量が間に合うだけの予定をしているのか、ぎりぎりなのか。

○委員長（小沼秀朗君） 平井消防次長。

○消防次長兼消防総務課長（平井良宏君） 感染防止衣は、救急隊は常に感染対策として使用しております。また、救急以外にも消防隊は必要に応じ使用しておりますが、今回、このコロナウイルスにその方が感染をしているかどうかというのは事前に全く分からないものですから、ほとんどのケースで着用をして出場しております。

通常、年間の使用量は200着程度を使い回しというか、何回か着ていますが、今回の場合はすぐにそれを捨てるというようなこともしていかなければいけませんので、多くの数を必要としております。年間、おおよそ 500着程度の使用想定を今のところしておりますので、備蓄数を増やしたいと思っております。

以上です。

○委員長（小沼秀朗君） ほかに質疑はございますか。

よろしいですか。

[「はい」との声あり]

○委員長（小沼秀朗君） それでは、質疑を終結します。

ありがとうございました。

ここで委員会室の密を避けるため、当局の皆様は退席をお願いします。

[委員間討議 10:50 ~ 10:56]

○委員長（小沼秀朗君） それでは、委員間討議をお願いします。

意見のある方はお願いします。

鷺山委員。

○委員（鷺山喜久君） 経験したことの無いコロナということで、今年の1月の終わりから8か月、終わる見通しもなくて、ここで東京なんかで300というのが出ていて、まず今後、こういう補正を組んでいるのを見ても、それこそ緊急対応なので、緊急対応と言えばいいんですが、基本は、終息のめどが立たない以上はコロナと長いお付き合いをしていくようになるわけで、そういう長いお付き合いに見合った予算対応をしていくべきじゃないかなというように、今後はですけれども、この補正予算を反対するから言っているわけじゃなくて、もっとコロナというものを長い目で見て長いお付き合いをする、その対応をするための予算をしっかりと立てていくということが大事じゃないかと思います。一言だけ申し添えます。

○委員長（小沼秀朗君） 今の鷺山委員からの意見に対して意見のある方はお願いします。

松浦副委員長。

○副委員長（松浦昌巳君） 鷺山委員と同じような意見ですけれども、やはり今、まだ終息に向けた緊急対応ということで予算をしているんですけれども、少しずつもう様子も変わってきたかなというのは思います。今回もタブレットの予算づけもあたりとか、消毒液とかマスクもそうなんですけれども、これから多分、防災に対しても生活の様式も変化してくる。それが消毒が当たり前、マスクが当たり前というような世の中になってくるかなと思いますので、こういった習慣づけのための周知期間というか、それに対しての予算づけというのもこれからまただんだんしてくるかなと思いますけれども、今回の予算については、総務だけではないんですけれども、いろんな意味で今後のこれからのコロナ対応というか、そういうのも含まれていていいなというふうに思っています。

以上です。

○委員長（小沼秀朗君） 松浦副委員長からの意見に対して意見のある方はお願いいたします。

藤澤委員。

○委員（藤澤恭子君） お二方と本当に同感だと思います。

やっぱり今回のこの予算の中では、特に救急活動をしてくださっている消防隊の方々への本当に御負担、心労も含めた御家族の心配も含めた御負担も大きいなとも思いますので、間違いないこういったこれからやっぱり長くまだまだ続く可能性を考えて、手厚くしていきたいなと思っております。

以上です。

○委員長（小沼秀朗君） 鈴木委員。

○委員（鈴木正治君） 今、皆さんおっしゃるとおり、まだ当分このコロナの関係はかかると思うんですが、そういう中で、今、非常に緊急的に発生しているのが熱中症ですね。熱中症とコロナの

症状というのは近いものですから、これ、救急が受けた場合、電話で分からないんですね。そうすると当然、コロナ対応をして出ていかなきゃいけない、こういう状況がかなり負担がかかっていると思うんですよ。それで行く人たちは、コロナで重症化していれば、そうすると命懸けの状況で行くわけですよ。そういう中で一生懸命やってくれているので、これはこれで皆さんに感謝しなくてはならないと同時に、それから、さっきの説明の中で、この程度でそういった場合の対応が、今まで大体電話で、熱が、状況を聞くと、ああ、これはコロナの危険性があるということでその対応をしていけばよかったけれども、熱中症の場合にはほとんどがコロナと差がないような話らしいので、果たして資材等が足りるのかなと、こんな心配があるんですが。

また、だから総務委員会としては、もしそういうことで不足すれば、また補正でやれるような方向を考えるとすることが必要じゃないかな、そんなふうに思います。

○委員長（小沼秀朗君） 今の鈴木委員からの意見に対して意見のある方、いらっしゃいますか。全体で何かほかにありましてでも結構ですが。よろしいですか。

〔発言する声なし〕

○委員長（小沼秀朗君） それでは、以上で討議を終了いたします。討論はございますか。

〔「ありません」との声あり〕

〔討 論 なし〕

〔採 決〕

議案第103号 令和2年度掛川市一般会計補正予算（第6号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第2款 総務費（第1項を除く）

第9款 消防費

第2条 債務負担行為の補正

第3条 地方債の補正

全会一致にて原案とおり可決

3) その他

○委員長（小沼秀朗君）

次に、その他に入ります。

その他、皆様からございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○委員長（小沼秀朗君） 9月の定例会が始まってきますけれども、その中で、先般メールも送らせていただきましたけれども、コロナから市民を守るということで委員会の協議会も開催させていただきますので、これも内容も含めて議会報告会の資料を作っていきたいと思いますので、また事

前に内容もメールさせていただきますけれども、皆様もまた御協力のほどよろしく申し上げます。

それでは、以上で総務委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

4) 閉会 10:57